



石原橋下の釣人 Fishing under the Ishihara bridge ...

© photo by Isao Yoshida

“ 奉仕を通じて平和を ”

RI会長
田中 作次
2570地区ガバナー
鈴木 秀憲

重点課題は奉仕の追求

第 2502 例会 2012.8.1

—— 会員増強および拡大月間 ——

天候 晴 (NO.49-05)

会長 安藤泰雄 幹事 島田秀和

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 市川(洋)君、和泉君

例会場: マロウドイン飯能 〒357-0021 飯能市双柳105-8
☎(042)974-4000

事務局: 飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7

☎(042)974-3111(代) FAX (042)973-1662

http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@hanno.jp

《ガバナー補佐訪問例会》

- ・点鐘 安藤会長
- ・ソング 君が代 奉仕の理想
- ・四つのテスト斉唱 山岸職業奉仕委員
- ・卓話 (ガバナー補佐) 平岡達也様

の席へ、3年未満の方は11時半までに来て
ください。制服、ネクタイ着用。

【出席報告】無断欠席なし 川口出席委員

会員数		当日		前々回修正
全数	対象	出席数	出席率	出席率
54名	6名	51名	94.44%	92.59%

【会長報告】

本日は平岡ガバナー補佐に来訪頂きました。クラブ協議会、補佐訪問、次週公式訪問と、1年の活動の原点になる会合が続きます。先程、別室において、当クラブの運営等についてさまざまなご指導ご教授を頂戴しました。後程、補佐卓話の中でさまざまなお話をし頂けるものと思っております。会員の皆様には年度スタートに、厳しい、堅い会合が続きますがよろしく願い申し上げたいと思います。

先日、ビジターとして例会に出席された、東京池袋RC尾崎会長より御礼の手紙、「とても素晴らしいクラブ」というお褒めの言葉を頂戴しました。

聖望学園は甲子園を目指し決勝戦を戦い、厳しい暑さの中、本当にはつらつとプレーする姿にとっても元気づけられました。残念ながらあと一歩及びませんでした。来年も健闘を願っております。

【幹事報告】

- ・第3回役員会、本日18時半、さかえ。
- ・公式訪問スケジュール配付。次週もこの資料をお持ち下さい。会員は12:15にこちら

【M U】

7/19(東松山むさしRC) 間邊君

7/29(地区) 木川君

【S A A報告】

オリンピックの見過ぎで寝不足、間違えて制服で来てしまいました。皆様、お気づきでしたでしょうか、例会開始前にビートルズの『ヘイ・ジュード』を流させて頂きました。オリンピック開会式でポール・マッカートニーが歌った事にあやかっただけでございます。

ニコニコBOX
・平岡ガバナー補佐様、ようこそ。いつもお世話になります。よろしく願い致します。

細田(吉)君、細田(伴)君、大附君、平沼君
矢島(巖)君、吉島君、新井君、吉田(健)君
間邊君、神田(敬)君、前島君、小崎君

・平岡ガバナー補佐、ようこそ。よろしくご指導の程お願い致します。安藤君、山川君
吉田(武)君、島田君、小川君

・早退 細田(伴)君、小崎君

本日計 19,000 円、累計額 88,000 円。

8日例会当番は市川(昭)会員、加藤会員です。

【卓 話】

講師紹介

安藤会長

皆様よくご存知ですし、個人的にも公私共に日頃からいろいろとご指導頂いている平岡様です。改めてご紹介するまでもないとの事で、今後共、当クラブに対する温かいご指導をお願いしましてご紹介に代えさせていただきます。

ガバナー 補佐 卓 話

2012 13年度 第2570地区
第3グループガバナー補佐 平岡達也様(人間RC)

公式訪問の1週間前にガバナー補佐はクラブを訪問しなさいとの事でお伺いさせていただきました。当クラブにはガバナー補佐としての大先輩、吉田(健)様、中里(昌)様がいらっしゃいますし、「長老」と言うと怒られてしまうのでしょうか、橋本様、加藤様。昔から大変お世話になっており、懐かしいお顔がたくさんいらっしゃいます。日頃からお世話になっており、厚く御礼申し上げます。

私はすぐ隣の仏子に生まれ育ちました。飯能は隣町というより、半分こちらに足を入れているような所で、子どもの頃から何だかんだと飯能に足を運んでおりました。当時の事ですから電車で来るしかないのですけれども、買い物や遊び等にずいぶんよく来させていただきました。そんな事もあってか顔見知りの方がお蔭様でたくさん出来、人間市よりも飯能市に親しんで参りました。

今日はロータリーについての話をしなさいという事なのですが一寸だけ青年会議所(JC)の事に触れさせていただきます。

私は30才を過ぎた頃、JCに出会いました。あるセミナーを聴きに行きましたら、講師はJCのOB、たいへん迫力のある話をされ、感動したわけです。それまでJCなんて知りませんでしたから「JCって一体何なんだろうな」と思い、探してみたのですが、人間にも飯能にも、その時はまだありませんでした。電話帳を繰って探したところ、所沢にあるという事が分かり早速電話。丁度そこに当時の理事長がおられ、とにかく一遍遊びにおいでよという事で、それがきっかけで所沢JCに入会させていただきました。都合5年程、所沢でお世話になっていたのですけれども、JCというのは地元結び付いた活動で、そんな事ではいけないのですけれども、私は人間市の人間ですから、どうもその「所沢での活動」というのが合わない部分もあり、日本JC等、外に出させて頂いておりました。そうこうするうち、飯能、人間にJC設立の機運が生じ、人間にJCを創り、そちらに移籍してから2年程して卒業になりました。RCもそれに引き続いて入会のお誘いを受けたわけですが、私にとってみれば“地域における人付き合いの原点”というのがJCであったな、ということがあ



りまして、今でも各地にお伺いしますと顔見知りの方がそれぞれ居られ、たいへん懐かしく交流させて頂いております。40才でJCを卒業しRCに誘われました。既に亡くなっていた父も熱心なロータリアンだったもので

すから特にRCについてどうこうという事もなくRCに入れて頂きました。

私が入会した頃の入間RCは会員数も多く(今は40名)たいへん楽しく賑やかなクラブでした。パストガバナーの繁田正一様という方が居られ、この方は我々から見ると「ロータリーの神様」みたいな方でしたけれども、繁田様自身はRCの事を「おとなの幼稚園」とよく言われ、楽しんでおられました。RCについていろいろ話をして下さいましたが、我々が感心してそれを聴いておりますと「これは『ロータリーの友』に書いてある事なんだよ」というふうに言われてしまい、当時から不勉強だったんだなと思ったわけでございます。地区等に出させてもらっても、繁田様が一目置かれていたためというか、人間から来た事が分かるるとたいへん温かく迎えて頂き、そういう意味では楽をさせて頂いた感じもしております。

昨年暮から今年の1、2月にかけて、私共の石川PGから「第3Gでガバナー補佐をやってくれる人が居なくて困ってるんだよ」という話があり、その時は無責任に「だったら飯能に行けばたくさんいらっしゃいますよ。飯能へ行ってお願いした方が良いですよ」と申し上げていたのですけれども、それが廻り廻って私のところに来てしまいました。ガバナー補佐というのはあくまでもガバナーを補佐する立場ですので、何とか1年間きちっと出来れば良いなと思っております。

RCに入会して20年経って会長を仰せ付けられました。たいへん混み合っていて、なかなか順番が来なかったのです。2000~01年、21世紀を迎えた年でありました。この年にDLP(地区リーダーシッププラン)が導入。ガバナーは本庄の高橋福八様でした。JCの大先輩で、「面白くて為になるロータリー」というのを掲げて活躍されました。たいへん活発に動かされたものですから問題もあったと聞いておりますが、合同IMは歌舞伎座で行われ、私もその舞台に出させてもらったのです。そういう意味ではたいへん思い出に残る事でもございました。

2005年にはRCは100周年を迎えました。それぞれのクラブで記念事業に取り組みされた事と思いますが、人間でも何か記念に残る事をしようと考えたわけでございます。人間、狭山には人間基地がありますので、基地司令にお目にかかった時、「こういう事で、何か普段出来ない事をやりたいのだけれども、市民に声を掛けて、滑走路を歩かせてくれないか」

とお願いしたのです。その時は「いいね」と言
って下さったのですが、その後、「滑走路は緊
急時の対応が必要で、人が歩いて物を落と
したりして異物があつたりすると飛行機の発着
に大きな支障があるから難しい」と言われて
しまいました。何とかお願いしますと頼み込み、
ようやくOKを頂きました。市民の方に声を
掛け、募集して選ばれた人が中に入りました。
基地内ですから簡単に出たり入ったり出来ま
せんので登録をして中に入れてもらうのです。
記念にTシャツを作り、皆で一緒に基地を歩
かせてもらいました。それだけの事かと言っ
てしまえばそれまでなのですが、私にとって
みればたいへん思い出深い出来事でした。今
でも「ランウェイウオーク」は人間基地の事業
としてやっているように聞いております。

飯能はたくさんの会員に恵まれております
が、最近では会員数の減少に悩まされている
ところが多くなって参りました。会員数の減少
についてはいろいろ理由はあるのでしょうけ
れども、RCに関して十分な知識を持たない
ロータリアンが増え、RCを十分理解しない
まま去られてしまうという事が多いとも聞い
ております。RCも創立後104年を経ており、
その間、世の中もたいへん大きく変化してい
るわけですから、RCも変わって当然なのだ
と思えますけれども、実際には思ったように
変わり切れていないという事が原因の1つか
なというふうにも思われます。これらの問題
を分析し、お互いに十分に話し合い、各世代
のロータリアンが「新しいRC」について理解
を深める努力をしていかなければ、なかなか
これからの発展は望めないのではないかなと
感じております。一人一人のロータリアンが
自覚をもってRCを理解しようとする事が切
要であるという事は、言うまでもない事であ
ろうと思っております。

そこで、最近「研修」という事が言われて
参りました。内部に対しては「研修」、外部
に対しては「広報」です。

地区に「研修リーダー」という制度が出来
ました。そして、それぞれのグループ、第3
グループにも「研修委員」という担当の方が
居られ、内部できちんと研修しようという事
になっております。まずは、新入会員研修、
フレッシュマン・セミナーをしようという事
で、9月末頃に予定されていると聞いてお
ります。

それから、研修の1方式として昨年当
地区にも取り入れられたRLI(ロータリー・
リーダーシップ研究会)日本には2008年
に導入、隣の2770地区は早くから活躍され、
今では2770地区に事務局が置かれてお
ります。「RLIとは何か」が分からないもの
ですから、まずはRLIの指導者を育成しよう
という試みが昨年行われました。

「RLI」とは「一人一人のロータリアンの
知識を高め、質の高いリーダーシップの研
修を通じてロータリーを活性化する事」等
と話す

非常に難しくなってしまうのですが、それ
を目的としたプログラムであります。

RLIの研修と言いますのは、一人一人の
ロータリアンに、ロータリーを理解してもら
い、ロータリーの組織や活動を知り、将来、
ロータリー活動に指導力を発揮出来る人を
育てるためのものです。研修の特色ですが、
講義形式ではなく、進行役にDL(ディスカ
ッション・リーダー)を置き、決められた
テーマについてお互いにディスカッション
し合い、研修していきます。それぞれの参
加者はその質問に答えれば良いというだけ
ではなく、その質問に対する他の参加者の
発言を聴いて、それを踏まえて自分自身
の回答や方向性を見出すというものです。
研修を受けるのは簡単と言いますか、参
加すれば事足りるのですが、その中で若
干頭を痛める、検討して答えていくとい
う部分も出て参ります。私も立場上、3日
間通い、形ばかりの卒業を致しましたが、
当クラブからは木川会員が参加されていま
した。

「研修」ですが、年度初めは「セミナー」
「セミナー」と各委員会が挙ってセミナー
を開催しますので、クラブに対しての負担
が高くなります。そして必ず会長と担当委
員長にセミナーの案内が来ていると思うの
ですが、委員長の都合が悪い時に、会長
は責任上「だったら私が行くよ」という事
がどうしても多くなってしまふという事
がありました。一応、会長と委員長あてに
案内は出しますが、今年は鈴木ガバナー
が「会長はそんなに無理をしなくていい
よ。むしろ、委員長、委員の方にお願
いして率先して行ってもらおうように
して、会長はなるべく足を運ばないで
もいいようにしなさいよ」と言ってお
られます。是非ご理解を頂き、会長に
協力して頂きたいと思っております。

外部に対しての「広報」ですけれども、
RCというのは元々、外部、一般の人に対
しての「広報」は非常に難しいのです。一
例としてライオンズクラブは「団体とし
ての金銭奉仕」ですから、何か、例えば
車を買って、横に「ライオンズクラブ」と
書いて寄付するとか、「ライオンズクラブ」
という大きな立て看板を作るとか、外
から見て分かり易いかなと思うのです
が、「ロータリーの奉仕」というのは個人
奉仕、精神奉仕と言われるように非常
に目に見えにくいものなのですね。で
すからなかなかロータリアン自身も
ロータリーを理解する事が難しい。ま
して一般の人に理解してもらおうとい
うのはなかなか困難な事であろうとい
うふうに思います。そこで最近「広報」
という事が特に言われ始めました。好
ましい公共イメージを広報する事によ
りロータリーを理解してもらい、新し
い会員の増強に繋がれば、という事
であります。メディアとの繋がりは、
より一層難しい事なのですから、メ
ディアを引き付けるような内部的な活
動をする、報道機関との関係改善に
心掛ける等が、必要な時

になって参りました。

7/1付「埼玉新聞」に、田中作次RI会長の特集が2570・2770地区合同で組まれました。日本人で3人目のRI会長が埼玉から出現したという事、ロータリーは長い間、ポリオの撲滅に取り組んでいて、そのためにたいへんなお金も遣い、その甲斐あって、もう少しで撲滅出来るところまで来たという事、等。世間の人はほとんどそういう事は知りません。それを少しでも知ってもらおうという事で、このような特集を組んだという事でございます。

鈴木ガバナーには、社会奉仕事業を手始めに、埼玉の2地区合同での事業を行いたいという意向があり、この度、「打ち水大作戦」という事が行われました。7/22は暦の上では大暑、一番暑い日。ガバナーからは「この日に『打ち水大作戦』をやりたい」という話がありました。あまり準備期間もなく、どうなのかなと思っていたのですけれども、「折角だから人間だけでもやってみようよ」という事で、人間南と一緒にやってみました。今日みたいに暑い日にやるのが当然の事なのですけれども、当日はたまたまお天気があまり良くなくて、打ち水の効果は全くありませんでした。本来はその効果があって、冷房を使用する機会が減少し省エネに役立ち、温室効果ガス排出量の削減にも繋がるという事を目途としたものです。「やる」と決めたものの、「水道水を使ってはいけない」「お金はかけない」「自然のものでやりなさい」という事ですから、川から水を汲んでくるとか、雨水とか風呂の残り湯とかを使ってやりなさいという事なのです。実際にはなかなかそういうわけにも参りませんで、私共の場合は、茶畑の方等へ行くとよく見られる黄色のポリタンクを、農家の皆様が持っておられるので、それを軽トラックに積み、井戸水を汲んで、普段から積極的に地域貢献活動に取り組んでおられる「イオン入間店」の店先をお借りして、そこを会場に打ち水を行いました。バケツと柄杓を持って来て撒くだけの事で、お天気も全く相応しくない日だったのですが、やはり大勢でやるというのは楽しい。人間と人間南と2クラブで出来ましたから結構楽しかったです。打ち水というのは非常に効果があると聞いていますので、是非皆さんの所でも店先に水を撒いて実感してみてください。

今日はガバナー補佐としてお伺いしているのですが、大先輩が2人もいらっしゃいますし、「ガバナー補佐って何だ？」という事もなかるうかと思いますが、立場上、ガバナー補佐の“責務”についてだけ、最後に少しお話させていただきます。

第3グループには担当するクラブが12クラブあるわけです。それらのクラブが“効果的に運営”されるよう支援しなさい、そうする事によってガバナーを補佐しなさいという事なのですけれども、地区には地区の、クラブ

にはクラブの目標があるわけで、そういう目標設定に協力をしなさいという事です。それから、「ガバナー公式訪問」は年に一遍だけガバナーが各クラブを訪れるわけですが、そういう「公式訪問」についての日程調整等、準備をしなさい。そして、出来るだけ沢山、出来れば四半期に1度位、各クラブを訪問しなさいとも言われております。

また、会長エレクトから会長になる時には、「“効果的なRC”となるための活動計画の指標の作成」というのがあり、これを現会長は必ずしなくては行けないのです。これがなかなか難問で、向こうのものをこっちへ持ってきた書類ですから、理解しにくい部分があるのです。それを消化不良のまま使っていますから、会長としては大変なのですが、これを作成してガバナーに提出しなければならない。そのお手伝いをしなさいという事も言われております。

“効果的なクラブ”とはどういうクラブを言うのか？という事になるわけですが、4つ程あり、1つは「会員増強」、もう1つは「奉仕プロジェクトを実施する」、それから、「ロータリー財団の支援」、そして最後は「指導者の育成」です。いずれも簡単な事ですけれども非常に大切な事。これらが成し遂げられて、クラブは“効果的なクラブ”に成るといふうに言われております。

他には、クラブの状況をガバナーに伝える、財団の協力をする、将来のリーダーを育成する、等でございます。

「公式訪問」には写真を撮るのでネクタイを着用して下さい等のアナウンスがありました。第3Gの公式訪問は一番暑い時に始まり、ずっと続いて10月まで続き、季節も変わって参ります。上着を着るクラブ、着ないクラブ、様々かと思いますが、その辺はクラブの判断でやって頂ければと思っております。

安藤会長：50周年に向けて団結出来るよう、「2500例会の記念バッジ」を作製しました。御礼に代えて、ガバナー補佐に受け取って頂きたいと思っております(拍手)。

平成24年9月のプログラム
(月間テーマ 新世代のための月間)

月日	例会数	行事予定	当番 [担当委員会]
9.5	2,507	(仮称) 【四つのテスト】 卓話「被災地の子どもへの心のケア」 臨床心理士 森 香織様	柏木君 神田敬君 [新世代]
9.12	2,508	《移動例会》駿河台大学 卓話「会社法中の株主利益と 社外取締役の意義」 駿河台大学学長 川村正幸様	小久保君 川口君 [プログラム]
9.19	2,509	卓話「地域放送と 【結婚・誕生日祝】 ソーシャルメディアの展望」 飯能日高テレビ チーフキャスター 大久保さとみ様 コンテンツ開発室長 和泉如記様	増島君 間邊君 [社会奉仕]
9.26	2,510	卓話「高林謙三翁(製茶機械発明者)について」 日高RC元会長 日高RC元会長 石井幸良様 鈴木敏蔵様	前島君 森君 [クラブ奉仕]

次週の例会案内は省略。